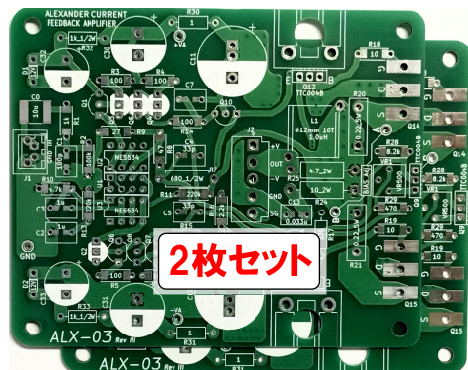


アレキサンダー電流帰還 パワーアンプ基板 ALX-03 Rev.3



アナログ・デバイス社 マーク・アレキサンダー氏考案の電流帰還アンプを応用し、現在入手可能な部品で構成して簡単に製作できるようにしたハイ・スルーレート・パワーアンプ基板です。

終段にパワー-MOS-FET IRFP240PBF/IRFP9240PBを使用したバージョンです(バイポーラトランジスタTTC5200/TTA1943も使用可能(詳細はホームページを参照してください))。

基板1枚で1チャンネル分のパワーアンプが組めます。
(2枚セットです)

【特徴】

- 低ノイズ、低歪み、ハイスルーレートな高速アンプ
- ODCオフセットを抑えるDCサーボ搭載
- OPAMP交換による音質変化を楽しめる
- 3段ダーリントン出力段による高ドライブ能力(2Ω負荷対応)
- 最適化された基板パターン
- 幅広い電圧に対応(標準±15V～±20V/定数変更すれば±50V程度まで)
- プロテクタ基板と組み合わせて使うとポップノイズ・レスかつ少配線

主な仕様 ※±20V電源使用時

- ◎ノンクリップ出力：10W(8Ω)/20W(4Ω)/40W(2Ω)
- ◎歪率：0.0025%(8Ω/1W 1kHz)
- ◎残留ノイズ：14μV(A-Weight/入力ショート時)
- ◎S/N比：116dB ◎ダンピングファクタ：140
- ◎スルーレート：160V/μs
- ◎周波数帯域：0.5Hz～500kHz(+0dB,-3dB)
- ◎ゲイン：27dB(約22倍)

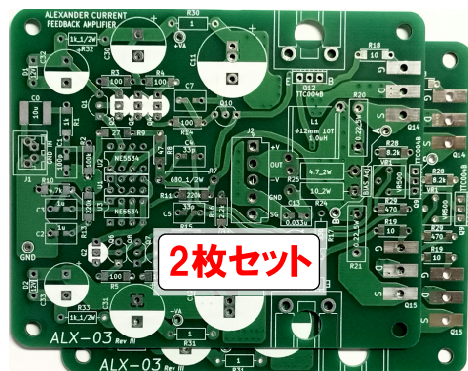
【Rev.3変更点】

- ドライバ段のTTC004B/TTA004Bを裏返さなくてもよくなりました
- PRT-01, PRT-02との接続を5極VHコネクタに変更しました

こちらのホームページを参考にしてください

<https://nw-electric.way-nifty.com/blog/alx03.html>

アレキサンダー電流帰還 パワーアンプ基板 ALX-03 Rev.3



アナログ・デバイス社 マーク・アレキサンダー氏考案の電流帰還アンプを応用し、現在入手可能な部品で構成して簡単に製作できるようにしたハイ・スルーレート・パワーアンプ基板です。

終段にパワー-MOS-FET IRFP240PBF/IRFP9240PBを使用したバージョンです(バイポーラトランジスタTTC5200/TTA1943も使用可能(詳細はホームページを参照してください))。

基板1枚で1チャンネル分のパワーアンプが組めます。
(2枚セットです)

【特徴】

- 低ノイズ、低歪み、ハイスルーレートな高速アンプ
- ODCオフセットを抑えるDCサーボ搭載
- OPAMP交換による音質変化を楽しめる
- 3段ダーリントン出力段による高ドライブ能力(2Ω負荷対応)
- 最適化された基板パターン
- 幅広い電圧に対応(標準±15V～±20V/定数変更すれば±50V程度まで)
- プロテクタ基板と組み合わせて使うとポップノイズ・レスかつ少配線

主な仕様 ※±20V電源使用時

- ◎ノンクリップ出力：10W(8Ω)/20W(4Ω)/40W(2Ω)
- ◎歪率：0.0025%(8Ω/1W 1kHz)
- ◎残留ノイズ：14μV(A-Weight/入力ショート時)
- ◎S/N比：116dB ◎ダンピングファクタ：140
- ◎スルーレート：160V/μs
- ◎周波数帯域：0.5Hz～500kHz(+0dB,-3dB)
- ◎ゲイン：27dB(約22倍)

【Rev.3変更点】

- ドライバ段のTTC004B/TTA004Bを裏返さなくてもよくなりました
- PRT-01, PRT-02との接続を5極VHコネクタに変更しました

こちらのホームページを参考にしてください

<https://nw-electric.way-nifty.com/blog/alx03.html>